

委託業務特記仕様書（令和6年5月1日以降適用）

（共通仕様書の適用）

- 第1条** 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

（共通仕様書の変更・追加事項）

- 第2条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、次のホームページに掲載の「委託業務共通仕様書（変更・追加事項）」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを適用するものとする。

委託業務共通仕様書について

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009033100099>

（共通仕様書の読み替え）

- 第3条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」において、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木事業設計業務編】」とあるのは「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

（成績評定の選択制（試行））

- 第4条** 当初業務委託料（税込み）が100万円を超え500万円未満及び、変更契約で業務委託料が100万円を超えた土木工事に係る測量、設計、試験及び調査の委託業務（建物調査、不動産鑑定、除草、現場施工管理等の委託業務は除く）は、別に定める「委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領」を適用する。
- 2 前項の対象業務の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「委託業務（土木）成績評定に関する意向確認書」を発注者契約担当に提出しなければならない。
- 3 履行途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、完了時、変更契約により業務委託料（税込み）が100万円以下となった場合は、評定は行わないものとする。

委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215929/>

（受発注者共同による品質確保）

- 第5条** 重要構造物（橋梁、トンネル、樋門、砂防等）設計や、補修設計において、必要であると判断された場合は、情報共有（設計条件の留意点、関連業務の進捗状況、設計変更の提案等）・設計方針の確認を目的とした、合同現地踏査等の発注者、受注者（測量、地質、調査、設計）で設計条件・方針を確認できる場を設けることができるものとする。
- なお、費用及び参加者等の詳細については、監督員と協議の上、決定するものとする。

（ウィークリースタンス）

- 第6条** 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に取り組まなければならない。
- (1) ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）

- (2) マンデー・ノーピリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
- (3) フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）
- 2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。
- 3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。
- 4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。
- 5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

（Web会議【発注者指定型】）

第7条 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web会議（発注者指定型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

- 2 Web会議は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

（Web検査【発注者指定型】）

第8条 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web検査（発注者指定型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

- 2 Web検査は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

（業務箇所への遠隔臨場【受注者希望型】）

第9条 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「遠隔臨場（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「委託業務における遠隔臨場に関する実施要領」を適用する。

- 2 受注者は、遠隔臨場の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施を決定するものとする。

委託業務における遠隔臨場に関する実施要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215928/>

（情報共有システム活用業務【受注者希望型】）

第10条 受注者は、情報共有システム（以下「システム」という。）の活用を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、システム活用の試行対象業務（以下、「対象業務」という）とすることができる。

- 2 対象業務は、次のURLにある「情報共有システム活用試行要領について」を適用することとする。

情報共有システム活用試行要領

徳島県CALS/EC <https://e-denshinyusatsu.pref.tokushima.lg.jp/cals/category/download/jyouhoukyouyuu/>

（本業務の特記仕様事項）

第11条 本業務における特記仕様事項は、次のとおりとする。

第1章 業務目的

本業務は、福井ダムの管理用水力発電設備の老朽化対策について検討設計を行うものである。

第2章 業務内容

1 検討設計

(共通項目)

検討設計・施工計画の共通項目は以下のとおりとし、各設備の詳細は別途記載する。

- ・本業務では、各種機器の段階的な整備及び既設機器との連携が可能となる設計とする。
- ・供用中のダム管理に配慮した施工計画とする。

(1) 管理用水力発電設備検討設計

- ・福井ダム管理用水力発電設備について現地調査を行い、これらの設備について「ダム・堰施設技術基準（案）」に準拠した老朽化対策を検討・設計するものである。
- ・本業務実施にあたっての技術的方針および作業スケジュールを検討し、業務計画書を立案作成する。また、現地調査に先立ち、管理用水力発電設備の既往維持管理資料（完成図書、土木竣工図、既往補修・改修履歴、調査・点検報告書、工事記録等）及び維持管理計画を確認・整理し、現地調査の基礎資料を作成する。
- ・福井ダム管理用水力発電設備について、構成部材の健全度及び土木構造物との取り合い等の現地調査を実施し、現状における実態を把握する。
- ・管理用水力発電設備を構成する機器等について、既往設計の内容を確認し、必要に応じて、設計概要を整理するとともに、現地調査結果より老朽化対策の施工箇所及び内容を抽出し、施工方法、範囲の検討・決定を行う。
- ・管理用水力発電設備において、既設設計計算書及び老朽化対策工を確認・整理し、老朽化対策後の設備がL1地震動の耐震性能を確保している根拠資料を作成する。
- ・なお、既設設備の仕様は以下のとおりである。
 - a. 選択取水設備
 - A 取水する河川の名称 福井川水系福井川
 - I 取水地点位置 徳島県阿南市福井町鉦打地先
 - U 取水方法 福井ダムの河川維持用水・農業用水用放流管および非常用放流管の取水設備を利用し、最大0.70m³/sを取水し、水圧管路を経て、最大99kWを発電した後延長4.0mの放水路により福井川に放水する。

エ 規格

No.1 高圧スライドバルブ(φ400mm)取水口中心標高E.L. 40.5m

No.2 高圧スライドバルブ(φ400mm)取水口中心標高E.L. 37.5m

No.3 高圧スライドバルブ(φ700mm)取水口中心標高E.L. 32.0m

b. 放流設備

ア 規格

No.1 コーンスライドバルブ(φ300mm)

No.2 ジェットフローゲート(φ700mm)

c. 放水路

ア こう長 4.00m

イ 勾配 Level ~1/1.0

ウ 型式 暗渠

エ 寸法 高さ2.20~3.63m、幅1.50m

オ 圧力 0kPa

d. 水圧管路

ア 圧力 410kPa

イ 管胴の長さ

本管 管径700A:63.021m、
管径700~600mm:0.610m、
管径600A:39.104m)

枝管① 管径400A:27.500m

枝管② 管径400A:22.000m

ウ 管厚

本管 管径700A:8.0mm、
管径700~600mm:8.0mm、
管径600A:6.5mm

枝管① 管径400A:6.0mm

枝管② 管径400A:6.0mm

エ 材料 ステンレス鋼(SUS304)

オ 接合方法 フランジ接合

カ 支持方法 ダム堤体および地中埋設

e. 水車

ア 種類 横軸クロスフロー水車(1台)

イ 出力 110kW

ウ 回転数 450rpm

エ 制水弁種類 電動操作式蝶形弁

オ 制水弁主要寸法 φ600mm

カ 吐出管種類 鉛直形

キ 吸出高 0m

f. 発電機

ア 種類 横軸三相交流同期発電機（1台）

イ 容量 110 kW

ウ 力率 95%

エ 電圧 440 V

オ 相 3相

カ 周波数 60.0 Hz

キ 回転数 450 rpm

ク 結線法 星形

ケ 冷却法 自己通風四季

コ 保護継電装置の種類

遮断 不足電圧、周波数異常、発電機過電流、発電機過電圧、
主機過速度

警報 直流回路異常

サ 励磁装置

種類 ブラシレス交流励磁方式（1台）

容量 2.7 kW

回転数 450 rpm

駆動方法 発電機と直結

シ 原動機との連結方法 直結

2 打合せ協議

本業務における打合せは、初回、中間1回、成果納品時の3回とし、必要に応じて、適宜実施する。

3 報告書

設計条件、使用した基準、検討結果の決定根拠や経緯についてわかりやすくまとめる。